

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所等)

1 評価機関

| | |
|--------|------------------------|
| 名 称 | NPO法人 人材パワーアップセンター |
| 所 在 地 | 松戸市稔台7-12-6 コートルピナス102 |
| 評価実施期間 | 2025年6月10日～ 2025年11月7日 |

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

| | | | |
|------------|---|-------|--------------|
| 名 称 | AIAI NURSERY 本三里塚 | | |
| (フリガナ) | アイアイナーサリーホンサンリツカ | | |
| 所 在 地 | 〒286-0118 千葉県成田市本三里塚4-18 | | |
| 交通手段 | JR成田線成田駅から JRバス関東 多古線航空博物館行 宮下下車 | | |
| 電 話 | 0476-37-5822 | F A X | 0476-37-5844 |
| ホームページ | https://nursery.aiai-cc.co.jp/facility/honsanriduka/ | | |
| 経 営 法 人 | AIAI Child Care 株式会社 | | |
| 開設年月日 | 2017年10月1日 | | |
| 併設しているサービス | | | |

(2) サービス内容

| | | | | | | | | | |
|--------|--|-----|-------|------|--------|-----|---------|--|--|
| 対象地域 | 成田市 | | | | | | | | |
| 定 員 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | | |
| | 6 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 60 | | |
| 敷地面積 | 578.67㎡ | | | 保育面積 | | | 400.79㎡ | | |
| 保育内容 | 0歳児保育 ○ | | 障害児保育 | | 延長保育 ○ | | 夜間保育 | | |
| | 休日保育 | | 病後児保育 | | 一時保育 | | 子育て支援 | | |
| 健康管理 | 内科検診(年2回)・歯科健診(年1回)・身体測定(月1回) | | | | | | | | |
| 食事 | 業者(ミールケア)による献立作成・食材搬入、自園調理師による調理 | | | | | | | | |
| 利用時間 | 【標準認定】7:30~18:30【短時間認定】9:00~17:00 19:30まで預かり可能 | | | | | | | | |
| 休 日 | 日曜日・祝日・年末年始(12/29~1/3) | | | | | | | | |
| 地域との交流 | 夏祭り(お囃子演奏)・保育体験会 | | | | | | | | |
| 保護者会活動 | 運営委員会・懇談会 | | | | | | | | |

(3) 職員（スタッフ）体制

| 職 員 | 常勤職員 | 非常勤、その他 | 合 計 | 備 考 |
|-------|--------------|---------|---------|-----|
| | 10 | 5 | 15 | |
| 専門職員数 | 保育士(幼稚園教諭含む) | 看護師 | 栄養士 | |
| | 12 | 0 | 1 | |
| | 保健師 | 調理師 | その他専門職員 | |
| | 0 | 2 | 0 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

(4) サービス利用のための情報

| | | |
|-------------|--|-------------------|
| 利用申込方法 | 成田市の保育課で面接を行い、入所申込を受付。 | |
| 申請窓口開設時間 | 月曜日から金曜日の午前8:30～午後5:15まで | |
| 申請時注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・面接には予約が必要。HPのURLから予約。 ・入所希望月の2か月前から予約可能。 ・4月入所の受付は例年、前年の11月ごろから開始される。 | |
| サービス決定までの時間 | 入所月の前月中旬に決定。4月入所は2月中旬ごろに決定。 | |
| 入所相談 | 随時園見学可・保育体験会実施・保育課窓口でも対応 | |
| 利用代金 | 0～2歳児：成田市の定める保育料 3～5歳児：保育料は無料 | |
| 食事代金 | 0～2歳児：保育料に含む 3～5歳児：副食費5000円 | |
| 苦情対応 | 窓口設置 | あり：保育運営部エリアマネージャー |
| | 第三者委員の設置 | あり：主任児童委員 田所礼佳様 |

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>サービス方針 (理念・基本方針)</p> | <p>【保育理念】 一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ笑顔と元気が溢れた園を創造すること</p> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●向上目標 人間関係の向上・精神衛生の向上・身体機能の向上 ●育成目標 社会力の育成・養護力の育成・人間力の育成 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人と関係を築く ・周りの人の力になれる ・周りの人に応援される |
| <p>特 徴</p> | <p>子どもたちに様々な経験を通し、いろいろなことを学ぶ機会を作ることを大切にしています。一人一人の気持ちをしっかりと受け止め、保育士との愛着関係を築き、安心して生活できる環境を作るとともに、友達と一緒に遊ぶ楽しさ、一緒に成し遂げる喜びを味わえるような活動もたくさん取り入れています。3歳児からは幼児教育にも力を入れており、線つなぎからひらがな、カタカナ、アルファベットの書き方を学び、5歳児ではkokoro linguaという英語プログラムも行います。2024年度より「ろんり」というプログラムも取り入れています。有償の思考教育プログラム(1Qパズル+Break it kids)と体操教室(コスモスポーツクラブ)も保育時間内で行っております。</p> |
| <p>利用（希望）者 へのPR</p> | <p>緑豊かな場所にある保育園です。園周辺にはたくさんの自然があり、お散歩では四季折々の草花に触れることができます。空港が近いので、飛行機がよく見え、子どもたちも手を振って喜んでます。園庭もあり、晴れた日は遊具や砂場で遊ぶことができます。隣の原っぱでは追いかっこなど体をたくさん動かして遊んでいます。</p> <p>保護者参加型の行事として、保育参加を行っています。半日、保護者の方と一緒に保育に入ってもらい、お子様の様子を見てもらったり、クラスの子もたちと交流してもらっています。また、祖父母参観ではおじい様・おばあ様に来ていただき、普段は見られないお孫さんの様子を見ていただいています。どちらもご好評をいただいております。</p> <p>保育理念にもあるように、子どもたちの笑顔と元気がたくさん溢れる保育を大切にしています。子ども一人一人に寄り添い、しっかりと愛着関係を築いた上で安心して生活の場を提供いたします。保育士の愛情がたくさん溢れる環境の中で生活習慣を身に付け、集団生活の中で協調性や思いやりの心、生きる力を育てていきます。子どもたちだけでなく、保護者の皆様も笑顔になれるよう、日々のコミュニケーションを大切にし、お子様の健やかな成長を一緒に見守りたいと思っております。</p> |

福祉サービス第三者評価総合コメント

| |
|---|
| 特に力を入れて取り組んでいること |
| 1. 利用者の満足度の向上を意図した活動に取り組んでいます。 |
| 利用者の意見を把握するには、アンケート、連絡アプリ、送迎時会話、保護者面談、懇談会等あらゆる機会を利用しています。職員は利用者との会話の中から苦情に発展しそうな話題は直ぐに施設長に報告し、善後策を考え改善していきます。施設長は主に毎日の昼礼で報告して全職員が情報の共有と共通認識を持てるよう努めています。利用者からの相談はいつでも受ける体制があります。また、「保護者面談」は年2回(1回は必須)行い「個人面談記録」に結果を残しています。このように、利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し制度として運用しています。 |
| 2. 多様な研修制度で人材育成に取り組んでいます |
| 長期の人材育成を見据えた制度の柱として、キャリアパス(一般、管理者コース)やライセンス制度(主任ライセンス、施設長ライセンス)制度があります。職員はキャリア年数や目標に応じて制度を利用します。施設長は職員との1on1面談で将来の目標について話し合い、個人にとって最適な方法を指導しています。職種別、役割別の能力基準は「職務分担表」に明示して職員の役割における職務を明確にしています。年間研修計画を立て実施していますが、年度途中で外部研修(千葉県、団体等の主催のキャリアアップ研修)の案内があれば、職員を選抜して参加させ知識や技術の育成に努めています。 |
| 3. 保護者の満足度を高めるために、家庭との連携強化に取り組んでいます。 |
| 園での様子を保護者が把握できるよう、送迎時の口頭でのやり取りに加え、連絡帳アプリで午睡や食事のデータを連携するとともに、ブログにこどもたちの園での様子を毎日動画で配信しています。保護者からの意見や要望は行事後のアンケートや個別面談で聞く機会を設け、保育の質の向上や保護者の満足度アップにつなげています。保護者が実際に保育に参加する「保育参加」や祖父母の保育参観を実施し、園の保育の状況を直接見る、体験できる機会を設け、園の保育方針や運営を保護者が理解し、安心してこどもを預けることができるよう取り組んでいます。 |
| さらに取り組みが望まれるところ |
| 1. 外国籍のこどもにも質の高い保育が提供できるよう、ノウハウを増やしていくことに期待します。 |
| 地域性もあり、外国籍のこどもが年々増えてきており、今年度の0歳児は6人中5人が外国籍のこどもになっています。宗教に配慮した給食を提供したり、日本語が得意でない保護者との会話には翻訳機を活用するだけでなく、保護者の勤務先の日本人にフォローしてもらうなど、コミュニケーション強化の対策を講じています。今後も外国籍のこどもの増加が見込まれることから、行政やAIAIグループとも連携して、保護者が安心してこどもを預けることができ、こどもがいきいきと楽しい園生活ができるよう、ノウハウを高めていくことに期待します。 |

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

更に取り組みが望まれるところで上げていただいた外国籍のご家庭への支援とともに、特別な配慮が必要なお子様の受け入れにも対応し、インクルーシブ保育を実現すべく、職員の専門性を高め、園全体の保育の質を向上させていきます。これからも外部・内部の研修に参加する機会を確保し、研修で学んだことを園内でフィードバックしてもらったり、実際の保育に活かしてもらう環境を整えます。保護者支援にも力を入れていき、育児についての相談や親子のコミュニケーションの場の提供など、現在取り組んでいることを充実させながら、新しい取り組みも行い、利用者だけでなく、地域の交流の場になれるように努めてまいります。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 項目 | 標準項目 | |
|---|--------------------------|-----------------------------------|--|--|-------|
| | | | | ☑実施数 | ☐未実施数 |
| I 福祉サービスの基本方針と組織運営 | 1 理念・基本方針 | 理念・基本方針の周知 | 1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。 | 4 | 0 |
| | | | 2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | 3 | 0 |
| | 2 計画の策定 | 計画の適正な策定 | 3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。 | 7 | 0 |
| | | | 4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。 | 4 | 0 |
| | 3 管理者の責任とリーダーシップ | 管理者のリーダーシップ | 5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。 | 3 | 0 |
| | | | 6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。 | 7 | 0 |
| | 4 人材の確保・養成 | 人事管理体制の整備 | 7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。 | 5 | 0 |
| | | | 8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | 4 | 0 |
| | | | 9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。 | 5 | 0 |
| | | | 10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。 | 3 | 0 |
| 11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。 | | | 4 | 0 | |
| II 適切な福祉サービスの実施 | 1 利用者本位の保育 | 利用者尊重の明示 | 12 利用者満足度の向上 | 4 | 0 |
| | | | 13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。 | 4 | 0 |
| | | | 14 教育及び保育の質の向上への取り組み | 3 | 0 |
| | 2 教育及び保育の質の確保 | 教育及び保育の質の向上への取り組み | 15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。 | 4 | 0 |
| | | | 16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。 | 2 | 0 |
| | 3 教育及び保育の開始・継続 | 教育及び保育の適切な開始 | 17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。 | 4 | 0 |
| | | | 18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。 | 4 | 0 |
| | 4 子どもの発達支援 | 教育及び保育の計画及び評価 | 19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。 | 5 | 0 |
| | | | 20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。 | 6 | 0 |
| | | | 21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | 5 | 0 |
| 22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | | | 5 | 0 | |
| 23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | | | 5 | 0 | |
| 24 身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。 | | | 4 | 0 | |
| 25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。 | | | 6 | 0 | |
| 26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。 | | | 6 | 0 | |
| 27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。 | | | 4 | 0 | |
| 28 家庭との連携が十分図られている。 | | | 3 | 0 | |
| 29 地域社会との連携が十分図られている。 | | | 3 | 0 | |
| 30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。 | | | 3 | 0 | |
| 子どもの健康支援 | | | 子どもの健康支援 | 31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。 | 3 |
| | 32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。 | 4 | | 0 | |
| | 33 食育の推進に努めている。 | 5 | | 0 | |
| 5 安全管理 | 環境と衛生 | 34 環境及び衛生管理は適切に行われている。 | 3 | 0 | |
| | | 35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。 | 4 | 0 | |
| | | 36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。 | 6 | 0 | |
| 6 地域 | 地域子育て支援 | 37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。 | 5 | 0 | |
| | | 計 | 159 | 0 | |

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

| 評価項目 | 標準項目 | 標準項目 |
|---|--|---|
| 1 | 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>理念・保育方針は「事業計画書」やリーフレット「もう一つの家AIAINURSERY」、「重要事項説明書」などに記載しています。事業所内では誰もが見やすいエントランスや休憩室の壁に掲載し、職員は理念や保育者10か条を昼礼時に全員が唱和しています。年度初めの職員会議のなかで理念を「因数分解」し文章内の単語一つ一つの意味を掘り下げることによって理解と共通の認識を深めています。年度の園全体目標(1. One Teamで助け合う、2. マニュアル、ルールの徹底、3. 「生きる力」を育てる)は職員の話し合いで決め事務所に掲示しています。</p> | | |
| 2 | 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>入園説明会で利用者に必ず理念、方針について「重要事項説明書」を使って説明し納得を得たうえで同意書に署名を頂きます。日常ではエントランスの壁に掲示していて、利用者が送迎時に確認することができます。実践面については「クラス懇談会」や「保護者面談」で詳しく説明しています。また、運営委員会(施設長、保護者、民生委員等で構成)には説明・報告し、議事録は利用者に公開しています。日常の実践面の活動については、送迎時に保育の様子を伝えたり、不足があれば連絡帳アプリで連絡し、エントランスにドキュメンテーション(写真やコメント)を掲示して利用者に知らせています。</p> | | |
| 3 | 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。 | <input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>本部(法人)の中長期計画を踏まえて施設の年度「事業計画」を作成しています。大きな方針は本部の指示があり、それを受け、園を取り巻く環境や課題を整理し年度末までにそれぞれの実践面での活動の企画担当者を決め作成します。企画案は職員会議で話し合いを行い詳細を決定して全職員が情報を共有します。計画の実施面での評価は、利用者の参加行事では終了後アンケートをとり、園内行事については職員のヒアリングで客観的な情報を集め、行事計画書に評価を書き込み施設長へ報告し職員間で共有します。また、施設長は全てをまとめ年度末の運営委員会に報告しています。</p> | | |
| 4 | 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。 | <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>施設長は2か月に1回職員と1on1で面談を行い、実践面(行事、保育、利用者等)について話し合い、現状の課題を明らかにして今後の方針を伝えています。施設長は、日常では積極的な声掛けや昼礼を利用して職員の話や聞くなどコミュニケーション大切に、職員がいつでも相談できる雰囲気作りを努めています。例えば、夏祭りの準備では、従来手作品が多く、残業や自宅での作業が普通でしたが、職員と相談し市販品でも十分効果のあるものは購入に切り替えることで負担を減らし保育に集中できる様になりました。法人研修は多様なプログラム(E-ラーニング)がありますが、外部研修(保育士協議会主催など)では案内が届くと施設長が必要な職員を選り、ワークバランスを調整して受講させています。</p> | | |
| 5 | 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。 | <input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>遵守すべき法令や倫理を明文化し事務室に据え置いています。全職員には本部(法人)のコンプライアンス研修を年1回受講することを義務付けています。入社1年目の職員には保育従事者の守るべき倫理や法令について記載した「1年目の教科書」を配布し理解を深めるよう指導しています。プライバシー保護・個人情報の取り扱いについては、「個人情報取扱規程」や「個人情報取り扱いマニュアル」を用意し、Eラーニングによる研修によって全職員に周知徹底を図っています。</p> | | |

| | | | |
|---|---|-------------------------------------|--|
| 6 | 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 |
| (評価コメント) | | | |
| ICT化の促進によって、例えば連絡帳アプリの利用で降園時に子どもの状況の伝え漏れがあっても詳細を連絡出来るようになりました。また、職員はインカムを携帯して職員間で連絡を即時伝達出来るようになりました。子どもの午睡ではCCS端末を使用し体温、脈拍、体の向きを自動計測しパソコンに転送することで職員は子どもの安全に集中して注意を向けることが出来るようになりました。PCでの書類作成等、業務効率化は図れていますが、PCの台数が十分ではなく更なる効率化のために台数の補填を期待します。施設長は職員に積極的な声掛けによって距離感を払う努力をし、正式な1on1面談も2月に1回と回数を増やして職員が相談しやすい環境作りを努めています。ワーク・ライフ・バランスは職員の希望を優先して調整のみ行っています。有給休暇の取得は法人の方針で100%となっています。 | | | |
| 7 | 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 常勤職員の確保は事業計画に基づき本部が行っています。職員の役割や権限は「職能等級表」、「職務分掌表」や「施設経費取扱規程」で明確にしています。人事考課は「人事評価シート」(全社共通)を職員に配布し、職員は自ら年間目標を立案します。施設長は1on1で目標の方向、難易度等を職員と話し合い年間の個人目標を決定します。年度末に施設長は目標に対しての評価を数値で測り、職員との1on1の面談で評価結果や今後の対応などを説明しています。評価の公平性は、共通の評価票と数値での評価、最終結果を本部に送ることで保たれています。 | | | |
| 8 | 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 |
| (評価コメント) | | | |
| 必要な福祉人材の確保と育成に関する方針が確立しています。人材の定着を図るために働きやすい職場環境を整えています。例えば本部(法人)は職員に対して年1~2回直接連絡をとり勤務継続の意向や異動の確認をします。このようなきめ細かいアプローチは特徴の一つと言えるでしょう。昨年度の退職者は0で定着率の高さが伺えます。人材の育成については研修制度が充実していて、園内研修以外に法人主催の研修、外部研修(千葉県、市等の主催のキャリアアップ研修)を使って知識や技術の向上に努めています。外部研修は公平に参加するよう施設長が調整シフトの調整や研修費用については会社が補助します。 | | | |
| 9 | 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 中長期の人材育成計画がある。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 職種別、役割別に能力基準を明示している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 個別育成計画・目標を明確にしている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 中長期の人材育成計画があります。キャリアパス(一般、管理者コース)やライセンス制度(主任ライセンス、施設長ライセンス)制度があり職員はキャリア年数や目標に応じて制度を利用します。施設長は職員との1on1面談で将来の目標について話し合い、個人にとって最適な方法を指導しています。職種別、役割別の能力基準は「職務分掌表」に明示して職員の役割における職務を明確にしています。年間研修計画を立て実施していますが、年度途中で外部研修(千葉県、市等の主催のキャリアアップ研修)の案内があるので、職員を選抜して参加させ知識や技術の向上に努めています。 | | | |
| 10 | 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。 |
| (評価コメント) | | | |
| こどもの尊重や基本的な人権への配慮について年1回のコンプライアンス研修、2か月1回の3歳未満児、以上児担当者を対象とする動画カンファレンスを行っています。職員は自己評価や「虐待の芽チェックリスト」を年に2回実施して客観的に、放任、無視、虐待がなかったか相互に振り返りを行っています。保育においては職員の思いが強すぎることがないようにと職員を指導し、子ども個人の意志を尊重するよう努めています。例えば牛乳が嫌いな子どもについて保育者は飲めるようになって欲しいと思っても無理強いせず、時間をかけ見守る体制をとっています。 | | | |
| 11 | 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 個人情報の利用目的を明示している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。 |
| (評価コメント) | | | |
| 個人情報の保護に関する方針をホームページ「プライバシーポリシー」に記載し、入園の説明時に「重要事項説明書」を基に詳しく説明して同意書を得ています。個人情報については利用目的、範囲、利用者の権利(記録の開示、記録の修正、記録の削除)を明確に表示しています。職員に対しては年1回のコンプライアンス研修を実施し周知徹底しています。実習生はオリエンテーションの際に個人情報保護に対する法人の方針を説明し、納得の上で誓約書を提出しています。 | | | |

| | | |
|--|--|---|
| 12 | 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。 | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>利用者の意見を把握するには、アンケート、連絡アプリ、送迎時会話、保護者面談、懇談会等あらゆる機会を利用しています。職員は利用者との会話の中から苦情に発展しそうな話題は直ぐに施設長に報告し、善後策を考え改善していきます。情報は主に毎日の昼礼で報告して全職員が情報の共有と共通認識を持つよう努めています。利用者からの相談はいつでも受ける体制があります。また、「保護者面談」は年2回(1回は必須)行い「個人面談記録」に結果を残しています。このように、利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し制度として運用しています。</p> | | |
| 13 | 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。 | <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>苦情に対する制度や受付窓口、利用の方法については入園開始時に「重要事項説明書」で詳しく説明し、冊子「AIAIこどもの才能が伸びる園」にも記載しています。エントランスには苦情の窓口や第三者委員の連絡先を記載したパネルを掲示して利用者は送迎時に確認することができます。園に「苦情対応マニュアル」や「苦情対応規程」があり透明性をもって公正に苦情を解決する仕組みがあります。職員には苦情を受けた際の対応を全体会議で周知しています。苦情案件については「相談・苦情報告書」を作成し全職員が共有します。対応については解決案を提示し必要に応じて保護者との面談も行っています。</p> | | |
| 14 | 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>職員は保育の質について「保育内容等の自己評価チェックシート」を使い自己評価を年2回実施しています。自己評価を行うことで客観的に保育を見直し、結果は施設長が確認し必要な場合は指導コメントを書きます。研修は年間通して行い保育者はキャリアアップ研修などを計画的に受講しています。社外研修(千葉県、団体等が主催する)についても案内が入れば積極的に研修への参加を促し、研修後は「研修報告書」を作成し、施設長との1on1面談で一緒に振り返りを行っています。今年は福祉サービス第三者評価を受審し結果をWAMNETやホームページに公開する予定です。</p> | | |
| 15 | 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>日常の業務の手順やルールはマニュアル化しています。マニュアルは全て事務所に備え置いてあり、分からない時や新人育成など必要に応じて活用しています。園内の細かなルール(園の独自のマニュアル)については職員間で話し合い決めています。職員会議等で見直しを行い、必要に応じて改訂をしています。本部(法人)が決めた共通のマニュアル(規程を含む)については本部が定期的に見直し、必要に応じて改訂し配布しています。ここ数年外国籍のこどもの受け入れが増加しています。言語、宗教、家庭環境が一般的な日本人と異なることで満足や苦情の考え方も異なるかもしれません。今後の増加に備えてマニュアルの追加や改定等を早めに進めていくことを期待します。</p> | | |
| 16 | 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。 | <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>園見学は随時受け付けています。また、「保育体験会&子育て相談会」は日時をホームページなどに公開し年2回実施しています。見学時にはリーフレット「もう一つの家AIAINURSERY」を使って園情報を説明し、園内を案内したり、質問に応じています。園見学者には後日でも質問があればいつでも回答することを伝えています。今年の「保育体験会&子育て相談会」は5月は1組、9月は3組の来園がありました。</p> | | |
| 17 | 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>入園説明会では「重要事項説明書」を渡して理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール、更には園として大切にしていること等を丁寧に説明しています。そのうえで納得してもらい同意書に署名を頂き預かります。入園時の個人面談は保護者の意向を確認し「入園前面談記録」に記録しています。</p> | | |
| 18 | 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成します。全体的な計画は、こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成しています。例えば近年の傾向は外国籍のこどもが多く入園したことで異文化への対応が急がれ、言語、食事、習慣等に対応した計画が重要になっています。全体的な計画は職員会議で詳細に説明し職員は共通理解のもと情報の共有をしています。</p> | | |

| | | |
|---|---|---|
| 19 | 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した「保育計画」や「年間指導計画」を作成します。また、乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては「個別指導計画」を作成しています。計画にはこどもの実態に即した具体的なねらいを記載し、「月間指導計画書」や「週間指導計画書」に落とし込みます。指導計画の実践結果は、各活動の終了時や年度末に評価と反省を行い課題の発見を行って次の活動に繋げています。</p> | | |
| 20 | こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>こどもの発達に合った玩具や興味・関心のある玩具を各クラスに用意し、自由時間にはこどもが自分で玩具を取り出し、主体的に遊べるよう工夫をしています。自由に遊ぶことを通じ、こども同士で玩具を譲り合って遊ぶなど、遊びを通じて社会性を身に付けられるよう、保育士が必要な声掛けを行っています。また、担任の職員はAIAIグループの年齢別ブロック研修(2025年度は各学年2回実施)に参加し、保育環境についてのノウハウを学びます。他園の保育方法を実際に見ることで、良い点を学び、園の保育に取り入れています。</p> | | |
| 21 | 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | <input checked="" type="checkbox"/> こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分にとることができる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分にとることができるよう、広いスペースを確保しています。食事は保育士と栄養士が連携し、一人ひとりにあったものを用意しています。また、0歳児は目に見えた物やことに興味・関心を持つことから、視線が合う棚に玩具を設置する、音楽を流す、かんでんや絵具など直接触って遊ぶなど五感を高められるような環境や機会を整えています。こどもの状況は職員間で昼礼や申し送りや把握・共有し、保護者に園での様子をお迎え時に口頭で伝えるとともにアプリ連絡帳(午睡時間、食事量等)で伝えています。</p> | | |
| 22 | 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。) <input checked="" type="checkbox"/> 周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>1・2歳児は言葉の習得に加え、自分でできることが増えていく時期であることから、自分でできたという達成感を味わい、自己肯定感を高められるよう、一人ひとりの発達状況をしっかり見極め、保育士が適切に補助をしています。こども同士でのやりとりができるよう、保育士が仲介し、集団生活の基礎を学んでいます。行動範囲も広がり、事故や怪我が多くなるため、安全を確保しつつ、自由に動き、満たされるような環境を用意しています。トイレトレーニングの状況を職員が共有できるよう、トイレにこども別の一覧表を掲示し職員間で情報共有し、トレーニングを進めています。園でのこどもの様子はお迎え時に口頭で伝えるとともに、連絡帳アプリで保護者に伝えています。</p> | | |
| 23 | 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。 |
| <p>(評価コメント)</p> <p>基本的な生活習慣(あいさつ、着替え、手洗いなど)が身に付き、自分で考えて能動的に行動できるよう働きかけています。こども一人ひとりの家庭環境や発達状況を見極め、家庭と連携して成長に必要な援助・支援を行っています。他のこどもとの関わりでは、3・4歳児で合同で給食を食べることで、年上の子が年下の子の面倒を見る機会を作っています。5歳児のお楽しみ会では食べたいもの、やりたいリクリエーションをこども自らが考えて意見を言う機会を設けています。園でのこどもの様子はお迎え時に口頭で伝えるとともに、クラス全体の状況を連絡帳アプリで保護者に伝えています。</p> | | |

| | | | |
|---|----------------------------------|-------------------------------------|---|
| 24 | 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 稲や野菜(きゅうり、サツマイモ)の栽培を通して自然と触れ、収穫して食べるという食育の機会を作っています。また、季節の制作や行事を通してこどもたちが季節の変化に興味を持てるような工夫をしています。小学校の体育館での運動会やコミュニティセンターでの発表会の際に、地域住民と挨拶を交わしたり、公共のマナーを学ぶ機会を設けています。5歳児は近くの園との合同遠足や芋ほりや、お楽しみ会で近所の店に買い物体験に行く機会を通じ、社会生活に触れ、公共のマナーを守ることの大切さを学んでいます。 | | | |
| 25 | 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 異年齢のこどもの交流が行われている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 自由遊びの時間には保育士が遊びの輪に入り、一人ひとりの遊びの様子を把握しながら、ルールを守ることの大切さ、言葉で伝えることの大切さを教えています。保育士はルールをこどもに押し付けるのではなく、こどもが自分で考え理解できるような声掛けをしています。異年齢のこどもの交流は朝夕の合同保育時間だけでなく、3歳以上児は縦割りのグループで遊ぶ時間を設け、こどもたちの関係性を高める機会を作っています。また、3歳以上児は給食前のテーブル拭きや給食メニューの発表などを当番で行うことで、自信や責任感、達成感を高めています。 | | | |
| 26 | 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | こども同士の関わりに対して配慮している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。 | | |
| (評価コメント) | | | |
| 特別な配慮が必要なこどもには個別指導計画を作成し、職員で状況を共有して対応しています。対象のこどもがいるクラスでは、全体のクラス運営と配慮が必要なこどもへの対応のバランスに留意しています。行政や児童相談所やAIAIグループのAIAI PLUSと連携し、保護者が相談や助言を受けられる機会を設けています。保育士は障害児対応のスキルや知識を高めるため、AIAIグループのミニ講座を毎月受講しています。保護者が職員に相談する際には個室に案内するなど、プライバシーに配慮しています。 | | | |
| 27 | 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 担当職員の研修が行われている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。 |
| (評価コメント) | | | |
| 保育中の怪我などを含め、伝達表にて引継ぎ事項を遅番の職員に連携し、お迎え時に保護者に説明しています。お迎え時に保護者に伝えられなかった場合は、電話やアプリのチャットで保護者にもれなく伝える運営にしています。合同保育時は乳児の誤飲などの危険がある玩具は片付けるなど、安全に配慮したうえで、こどもがゆったりとくつろげる環境を用意しています。長時間保育に特化した研修はしていませんが、職員会議で異年齢のこどもが安全に楽しく一緒に過ごすための対応を話しあう機会を設けています。 | | | |
| 28 | 家庭との連携が十分図られている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。 |
| (評価コメント) | | | |
| 送迎時のやりとり、保育参加、保育参観、個人面談を通じ、保護者と連携しています。保護者との個人面談は年1回は全員、希望者には2回実施(保護者が参加しやすい面談日は1回目は平日と2回目は土曜日)しています。保育参加では保護者が保育士の制服を着用して実際に保育の場に入ってもらい、保育への理解を深めていただいています。外国籍のこどもの保護者とは翻訳機を活用してコミュニケーションを図っていますが、細かいニュアンスも伝えられるよう、保護者の職場の日本人に支援をお願いしたり、保護者が理解しやすい画像や現物を用いて説明するなど工夫をしています。 | | | |
| 29 | 地域社会との連携が十分図られている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。 |
| (評価コメント) | | | |
| コロナにより小学校の児童や職員同士の交流が途絶えていましたが、小学校の体育館を借りて運動会を実施したり、校庭で遊ぶ機会を作ってきました。今年はさらに小学校の児童との手紙交換と校内見学を実施することになり、こどもが小学校の雰囲気を知り、就学を楽しみにする機会を増やしています。高齢者施設との交流はできていませんが、園児の祖父母参観を実施し、高齢者との交流の機会をもっています。就学時には保育所児童要録を作成し、小学校と連携しています。 | | | |

| | | | |
|---|---------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 30 | 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。 |
| (評価コメント) | | | |
| こどもの心身の様子は保育士がしっかり観察し、着替えやトイレの際などに気づいた点があれば直ちに施設長に報告する運営にしています。その内容は昼礼や会議などで職員で共有しています。虐待が疑われる場合は、虐待防止・苦情対応マニュアルの児童虐待対応フローチャートに沿って、児童虐待通行報告書を作成し、行政や児童相談所と連携して対応します。また、虐待早期発見チェックリストに基づき、子ども毎に定期的にこどもの様子や保護者の様子を確認し、虐待の可能性のチェック、虐待の早期発見に取り組んでいます。 | | | |
| 31 | こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。 |
| (評価コメント) | | | |
| 登園時と午睡明けに検温を行い記録しています。嘱託医による内科検診(年2回)と歯科検診(年1回)を行い、結果を発達経過記録に記載して保護者と共有しています。毎月の身体測定結果、0-2歳児の午睡センサーのデータは連絡帳アプリにて保護者に連携しています。また、成長曲線や乳幼児の発育状態の程度を表すカウプ指数も把握し、保護者に共有しています。うつ伏せ寝が癖になっているこどもの保護者にはうつ伏せ寝の窒息リスクを伝え、園では必ず向きを変えていることを知らせています。慢性疾患により薬の預かりがあるこどもの一覧を事務所に掲示し、予約指示書に沿って事故が無いよう注意して対応しています。アナフィラキシー対応が必要な子どもに有事に適切な処置ができるよう、講習を受けて備えています。 | | | |
| 32 | 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。 |
| (評価コメント) | | | |
| こども家庭庁のガイドラインに沿って業務継続計画(BCP)を策定しています。体調不良や怪我が発生した場合は「感染症マニュアル」に沿って保護者へ連絡するとともに、必要に応じて嘱託医や子どものかかりつけ医に相談し、適切な処置を行っています。感染症の疑い/発生の際には速やかに自治体や保健所への報告を行い、専門的な知見からの助言を受けるとともに、保護者にもメールやお知らせボードにて注意喚起を行なっています。事務所に医務スペースを設置し、救急用の薬品を施錠できる棚に常備し、医薬品チェックリストにて管理しています。 | | | |
| 33 | 食育の推進に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。 |
| (評価コメント) | | | |
| 栄養士・調理師が中心となり、野菜の栽培だけでなく、食事のマナーや食への関心も高められるような食育計画を作成しています。給食のメニューは、カラー写真を掲載したカレンダー形式の献立表を配信し、エントランスに掲示しています。アレルギー対応、宗教食対応については年度初めに職員全員で必ずマニュアルを確認し、対象のこどもの情報を一覧表にしたものを事務室内と給食室に掲示しています。誤食や誤配膳のミスがないようダブルチェックするとともに、配膳は一人の職員が行い、誤食防止の観点からアレルギーのこどもは他の園児とは少し離れた席で食事をとるようにしています。苦手な食材があるこどもには強制するのではなく、口にしてみたくなるような声掛けをしています。 | | | |
| 34 | 環境及び衛生管理は適切に行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 衛生管理マニュアルに基づき、冷暖房、加湿器、空気清浄機で室温や湿度を適正に保っています。保育室及び共用部は次亜塩素酸消毒液(状況によって濃度調整)を使用し、チェックリストに沿って毎日清掃消毒作業を行っています。こどもたちが使う玩具、とりわけ乳児に関しては口に入れることを想定して消毒し、衛生管理を徹底し、玩具等は危険が無いように年齢に応じたものを用意しています。こどもの手洗いに関しては、食事、おやつ前や遊んだ後の手洗いを指導し、ペーパータオル、紙コップを使用して、衛生面と健康面に配慮しています。手洗い等で園生活を通じて健康を維持するための習慣が自然と身につくよう取り組んでいます。 | | | |

| | | | |
|---|--------------------------------|-------------------------------------|---|
| 35 | 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 事故対応マニュアルを整備するとともに、事故発生時のフォローチャート、役割を事務所内に掲示し、事故発生時にスムーズに対応できるよう体制を整えています。怪我などは軽度事故報告書に状況を記載し、昼礼や会議にて職員間で共有し、再発防止に努めています。また、ヒヤリハットを毎月一人1件洗い出し、職員間で共有することで、安全意識の向上や事故の未然防止に取り組んでいます。チェックリストに沿って定期的に設備や遊具の安全点検を実施するとともに、不審者を想定した避難訓をも実施するなど、園の安全確保に取り組んでいます。散歩などの園外保育に関しては、点呼の記録や行先、人数などを園外保育記録簿に記録して管理しています。 | | | |
| 36 | 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 定期的に避難訓練を実施している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 火災・地震などの災害に備え、マニュアルを整備し、災害時の役割分担表を事務所内に掲示しています。毎月避難訓練を実施し、指定避難場所までの避難や消防署立ち合いの訓練も実施しています。訓練後の反省会や消防署からの助言を得て、避難対策の見直しもしています(裸足での避難の回避、冬季の防寒対策など)。運動会に合わせて、保護者への引き渡し訓練も実施しています。引き渡し名簿には災害時に家族がお迎えに来られない場合も想定し、近所の友人などを登録するよう保護者に働きかけています。 | | | |
| 37 | 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の子育てニーズを把握している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の子育て支援に関する情報を提供している。 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> | 子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。 |
| (評価コメント) | | | |
| 年2回の保育体験会で地域の子育て世代の方との交流の機会を持ち、育児相談・栄養相談にのっています。保育体験会はAIAIグループのホームページに掲載し周知し、体験会の様子は園のブログで公開しています。園のエントランスにコミュニティセンターのイベント情報や地域の催し物のチラシを置き、利用者や地域の子育て関連の情報を提供しています。近所の店で買い物体験をしたり、神社のお参りに行くなど、地域の人々と子どもが交流する機会を作っています。 | | | |